

Eat Well, Live Well.



味の素株式会社（2802） 2022年3月期第3四半期実績

執行役常務
中野 哲也

2022年1月31日

*本資料における事業利益（連結ベース）：売上高－売上原価－販売費・研究開発費及び一般管理費＋持分法による損益

本日お伝えしたいこと

- 第3四半期も、増収増益を達成。
- 原材料費・物流費・人件費等コスト増影響は継続しているが、着実な単価向上でGP率を維持しつつ、販管費をコントロールしている。来期以降に向けて、コスト増に対する着実な打ち返し策を講じ、収益力強化を図る。
- 構造改革は、第4四半期以降も継続。中計フェーズ1の目標を完遂する。
- 2021年度通期予想は、据え置き。（修正なし）
- 2021年5月10日に発表した自己株式取得は、予定通り2022年1月31日までに上限金額400億円まで達し、完了。
取得した自己株式は、年度内にすべて消却予定。

第3四半期決算ダイジェスト

- 第3四半期決算は、204億円の増収、10億円の増益。
累計では、592億円の増収、84億円の増益。
- 主要セグメントで増収となるも、引き続き、原材料費・物流費・人件費等コスト増影響は継続しており、調味料・食品、冷凍食品は、いずれも減益。
- ヘルスケア等は、ファンクショナルマテリアルズ等が引き続き好調で増益。
- その他セグメントで、構造改革に伴う損失を計上。

第3四半期累計(4-12月期)サマリー

売上高 : 8,542億円 (対前年実績 107.5%、除く為替影響 105.0%)

事業利益: 1,084億円 (対前年実績 108.4%、除く為替影響 105.8%)

1. 売上高 : **増収**

- ・主要セグメントで、いずれも増収となり、全体で増収。

2. 事業利益 : **増益**

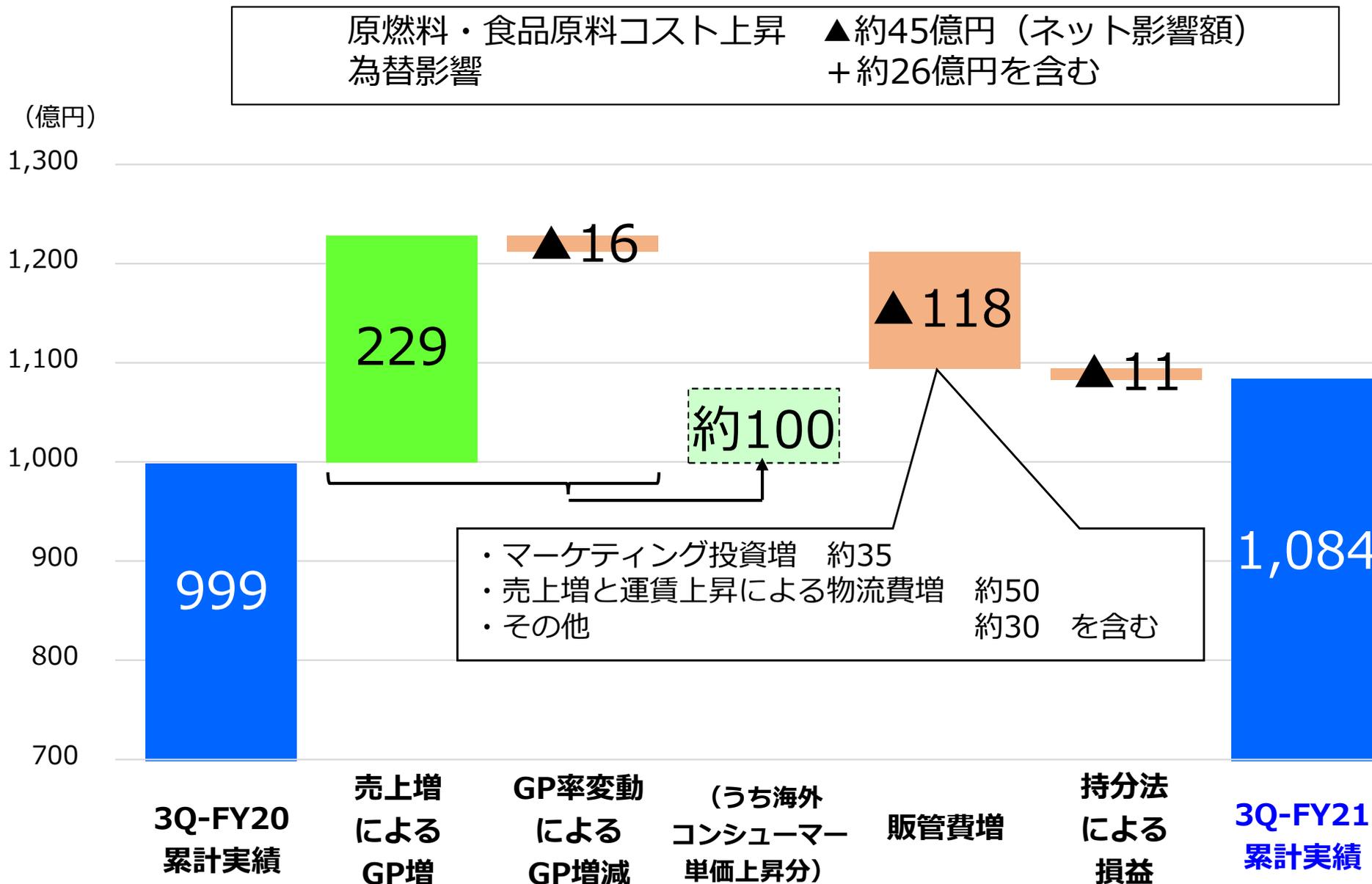
- ・調味料・食品や冷凍食品は増収も、原材料等のコスト増影響やマーケティング費用の戦略的活用等により、減益。ヘルスケア等は、ファンクショナルマテリアルズ事業やバイオファーマサービス&イングリディエントズ事業が好調で、増益。
- ・その他のセグメントで、構造改革に伴う損失を計上。

3. 親会社の所有者に帰属する当期利益 : **大幅増益**

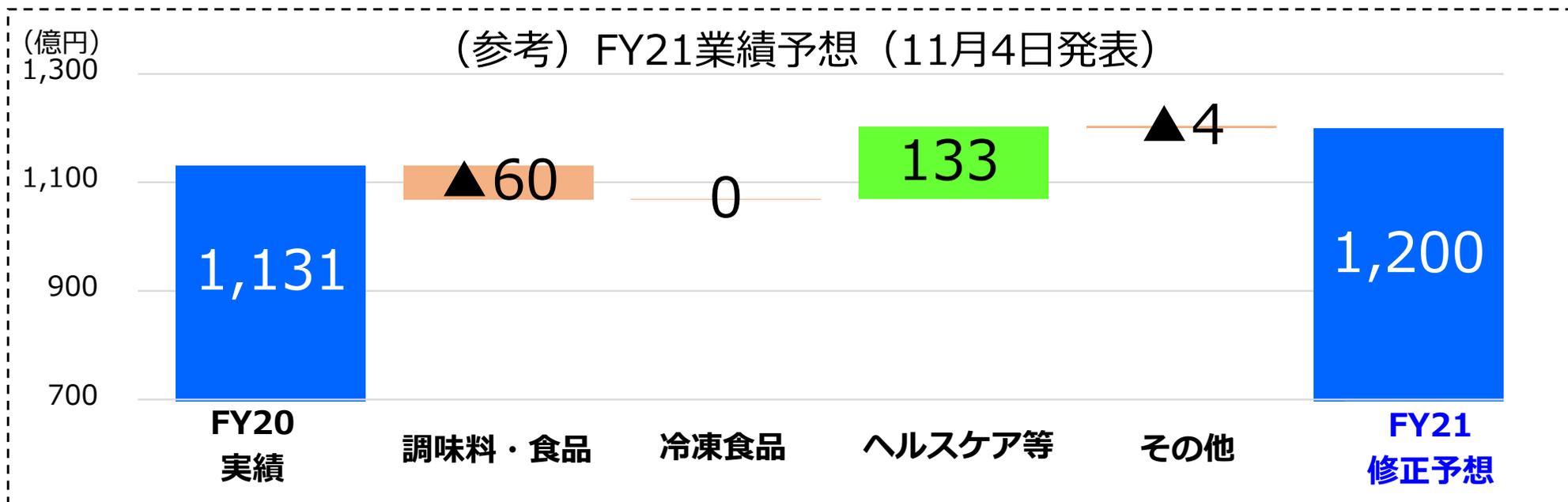
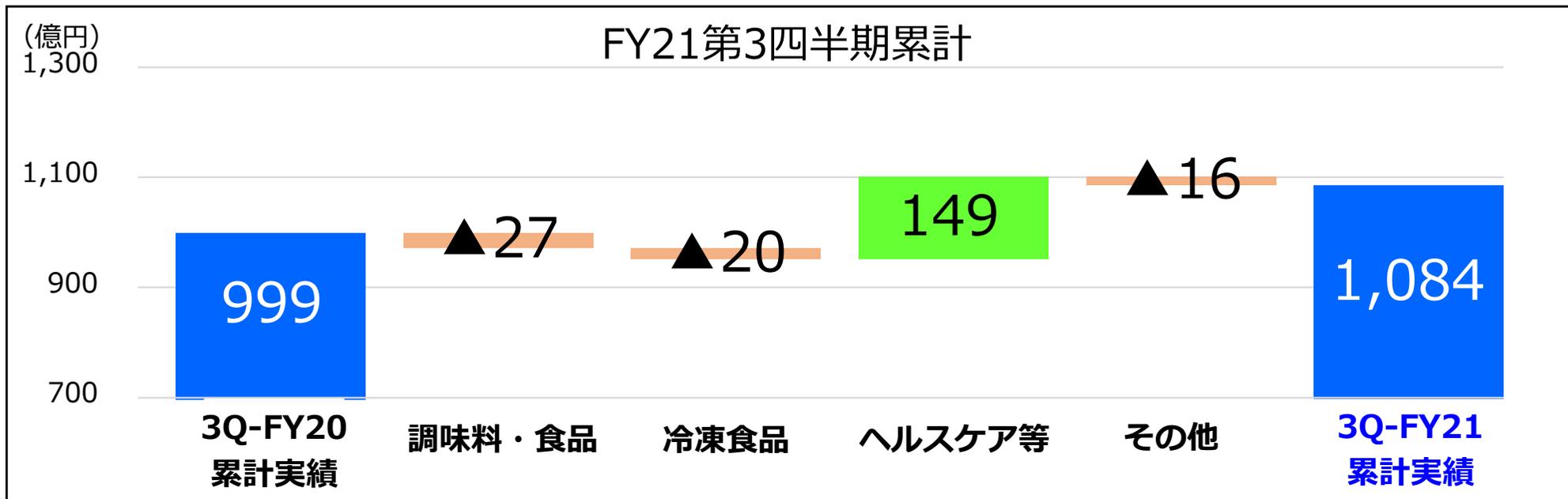
- ・資産売却等で大幅増益も、第4四半期に一定の構造改革費用計上を見込む。

(単位: 億円)	3Q-FY21 累計実績 (A)	3Q-FY20 累計実績 (B)	差額 (A) - (B)	前年比 (A) / (B)
売上高	8,542	7,949	592	107.5%
事業利益	1,084	999	84	108.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	815	626	188	130.1%

事業利益増減要因 (P&L要素別 第3四半期累計実績)



事業利益増減要因 (開示セグメント別)



第3四半期サマリー

売上高 : 3,039億円 (対前年実績 107.2%、除く為替影響 104.1%)
 事業利益: 391億円 (対前年実績 102.8%、除く為替影響 100.0%)

1. 売上高：増収（増収額：204億円）

- ・海外調味料、ソリューション&イングリディエーツ、海外冷凍食品、ファンクショナルマテリアルズ、バイオファーマサービス&イングリディエーツ等が全体をけん引し、増収。

2. 事業利益：増益（増益額：10億円）

- ・調味料・食品、冷凍食品は減益も、ヘルスケア等が大幅増益。為替影響もあり、全体で増益。

(事業利益対前年増減内訳-概算) (単位：億円)

	VS 1Q-FY20	VS 2Q-FY20	VS 3Q-FY20	VS 前年累計
売上増減によるGP増減	110	40	80	230
GP率変動によるGP増減	▲ 5	10	▲ 20	▲ 15
販管費増減	▲ 65	▲ 25	▲ 30	▲ 120
持分法による損益	10	0	▲ 20	▲ 10
計	50	25	10	85

(参考：対前々年)

	VS 1Q-FY19	VS 2Q-FY19	VS 3Q-FY19	VS 前々年累計
	45	20	55	120
	70	35	5	110
	▲ 5	10	▲ 10	▲ 5
	5	35	▲ 15	25
計	115	100	35	250

Eat Well, Live Well.



- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。
- 本資料の金額は、切り捨てで表示しております。

第3四半期累計セグメント別売上高・事業利益

(単位：億円)	3Q-FY21累計 (A)	3Q-FY20累計 (B)	前年比 (A)/(B)	ポイントサマリー	対前々年
売上高	8,542	7,949	107%	<ul style="list-style-type: none"> ・調味料・食品は、主に海外調味料、加工用うま味調味料、甘味料が伸長し、全体で増収。 ・冷凍食品は、主に北米の需要継続や単価上昇により伸長し、増収。 ・ヘルスケア等は、主にファンクショナルマテリアルズ、バイオファーマサービス、医薬用・食品用アミノ酸の伸長により、増収。 	103%
調味料・食品	4,978	4,683	106%		102%
冷凍食品	1,655	1,496	110%		105%
ヘルスケア等	1,819	1,674	108%		107%
その他	89	95	93%		81%
事業利益	1,084	999	108%	<ul style="list-style-type: none"> ・調味料・食品は、調味料で増益も、原材料等のコスト増影響や、栄養・加工食品の国内新工場立ち上げ影響等で、減益。 ・冷凍食品は、北米のコスト増影響や国内のマーケティング費用の戦略的活用等で、大幅減益。 ・ヘルスケア等は、主にファンクショナルマテリアルズの増収効果や、動物栄養事業の構造改革に伴う費用減等で、大幅増益。 ・その他は、構造改革に伴う損失を計上。 	130%
調味料・食品	741	769	96%		108%
冷凍食品	19	40	49%		90%
ヘルスケア等	333	184	180%		270%
その他	▲ 10	6	-		-

第3四半期累計エリア別売上高・事業利益（円貨）

(単位：億円)	日本		アジア		米州		EMEA		地域外		合計	
	3Q-FY21 累計	対前年 増減										
売上高	3,682	113	2,139	167	1,912	280	806	31	-	-	8,542	592
調味料・食品	2,059	▲ 30	2,052	183	589	79	277	63	-	-	4,978	295
冷凍食品	682	▲ 22	23	3	849	151	100	26	-	-	1,655	158
ヘルスケア等	853	174	63	▲ 19	473	49	428	▲ 58	-	-	1,819	144
その他	88	▲ 6	0	0	-	-	0	0	-	-	89	▲ 6
事業利益	496	45	415	37	114	▲ 21	57	23	-	-	1,084	84
調味料・食品	317	▲ 32	454	28	72	▲ 26	29	3	▲ 132	▲ 0	741	▲ 27
冷凍食品	42	▲ 4	8	▲ 4	5	▲ 16	4	4	▲ 40	0	19	▲ 20
ヘルスケア等	231	93	23	12	88	23	43	14	▲ 53	4	333	149
その他	▲ 0	▲ 16	▲ 0	▲ 0	-	-	0	▲ 0	▲ 10	▲ 0	▲ 10	▲ 16
全社共通費	▲ 95	4	▲ 69	0	▲ 51	▲ 1	▲ 20	1	237	▲ 4	-	-

第3四半期累計各段階利益（前年比）

(単位：億円、▲は損サイド。)	3Q-FY21累計 (A)	3Q-FY20累計 (B)	増減 (A)-(B)	対前年 (A)/(B)	FY21予想 (C)	進捗 (A)/(C)
売上高	8,542	7,949	592	107%	11,480	74%
売上総利益 (売上総利益率)	3,280 38.4%	3,067 38.5%	212	106%	4,365 38.0%	75%
持分法による損益	21	32	▲ 10	66%	34	61%
販管費 (販管費率)	▲ 2,217 25.9%	▲ 2,099 26.4%	▲ 117	105%	▲ 3,200 27.8%	69%
事業利益	1,084	999	84	108%	1,200	90%
その他の営業収益/営業費用net計	134	▲ 17	151	-	▲ 57	-
減損損失	▲ 4	▲ 6	1	78%	-	-
営業利益	1,218	982	236	124%	1,143	106%
金融収益/金融費用net計	▲ 28	▲ 22	▲ 5	126%	▲ 43	65%
税引前四半期利益	1,189	959	230	124%	1,099	108%
法人所得税 (税率：FY21予想 33.4%)	▲ 324	▲ 272	▲ 51	119%	▲ 370	87%
四半期利益 (含む非継続事業)	864	686	178	126%	728	118%
親会社の所有者に帰属する当期利益	815	626	188	130%	680	119%
非支配持分に帰属する当期利益	49	59	▲ 10	82%	48	100%

インフレーションへの対応

・調味料・食品や冷凍食品では、引き続き原材料等のコスト増影響を打ち返すべく、順次追加的に施策を実行中。

(主要国の価格対応-実施および発表済みのみ)

	FY21上期	FY21下期
調味料	<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシア（うま味調味料、6月・9月） ・ブラジル（うま味調味料、7月） ・ブラジル（風味調味料、7月） ・ブラジル（メニュー用調味料、7月） ・ブラジル（クッキングソース、7月） ・日本（マヨネーズ、7月） ・フィリピン（うま味調味料、9月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル（風味調味料、10月） ・インドネシア（クッキングソース、10月） ・フィリピン（風味調味料、10月） ・フィリピン（メニュー用調味料、10月） ・インドネシア（メニュー用調味料、12-1月） ・日本（マヨネーズ、3月）
栄養・加工食品	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム（飲料、6月） ・ブラジル（スープ、7月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本（家庭用レギュラーコーヒー、10月） ・ブラジル（粉末飲料、11月） ・日本（家庭用レギュラー・インスタント、3月）
S&I	<ul style="list-style-type: none"> ・日本（マヨネーズ、7月） ・海外（加工用うま味、販売店向けに随時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本（加工用うま味、全顧客向け、1月） ・海外（加工用うま味、グローバル顧客向け、1月以降順次） ・海外（加工用甘味料、グローバル顧客向け、1月以降順次） ・日本（マヨネーズ、3月）
冷凍食品	<ul style="list-style-type: none"> ・北米（業務用、4月・9月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・北米（家庭用、10月） ・欧州（家庭用・業務用、1-2月） ・日本（家庭用・業務用、2-3月）

参考情報リンク先

味の素グループ IR情報

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/>

味の素グループ 統合報告書2021

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/annual.html>

味の素グループ 中期経営計画説明会

https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/event/medium_term.html

味の素グループ IR Day

https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/event/ir_day.html

味の素グループ 事業説明会

https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/event/business_briefing.html